

2022年6月27日

各 位

株 式 会 社 オウケイウェイヴ
代 表 取 締 役 社 長 福 田 道 夫
(コード番号:3808 名証ネクスト)
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 野 崎 正 徳
電 話 番 号 03-6841-7672

(訂正)「(訂正)「会計監査人の異動及び一時会計監査人の選任に関するお知らせ」の
一部訂正について」の一部訂正について

2022年5月23日に開示した「(訂正)「会計監査人の異動及び一時会計監査人の選任に関する
お知らせ」の一部訂正について」の「6. 異動の決定または異動に至った理由および経緯」に係
る「(訂正後)」の一部において、記載内容の誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたしま
す。訂正箇所には二重下線を付しております。

記

(訂正前)

これに関連して南青山監査法人から、Raging Bull 合同会社との取引について、2022年6月期
第1四半期及び第2四半期のレビューの際に、与信管理の強化及び証跡の提出を求められており、
当社から当該取引先に対しても与信管理に必要な情報等の提供及び証跡の提出を、四半期決算ご
とに依頼していたにも関わらず情報の提供等がなされていない状況が継続しておりました。この
ため、同監査法人から事実関係が不透明なことに加え、当該取引先からの情報提供が不足してお
り、与信管理について不十分な現状においては、監査手続を続行することは困難であり監査契約を
継続しない意向である旨が伝えられ、今後の監査対応等について協議しました結果、2022年4月
28日付で同監査法人との監査及び四半期レビュー契約を合意解約することとなりました。

(訂正後)

これに関連して南青山監査法人から、Raging Bull 合同会社との取引について、2022年6月期
第1四半期及び第2四半期のレビューの際に、与信管理の強化及び証跡の提出を求められており、
当社から当該取引先に対しても与信管理に必要な情報等の提供及び証跡の提出を、四半期決算ご
とに依頼していたにも関わらず情報の提供等がなされていない状況が継続しておりました。この
ため当社と同監査法人による2022年4月15日の面談において、同監査法人より、結果として監
査の遂行及び監査意見の表明が著しく困難な状況に陥ったことから、会計監査人の辞任の申入れ
が口頭でなされ、当社はこれを受け入れる方向であることと正式には両社で別途合意書面を締結
する旨の協議をしました。同日、同監査法人がRaging Bull 合同会社の代理人弁護士より同社に
よる一連の資金運用に関する不適切取引に当社の取締役が関与している懸念がある旨の情報提供
を受けたことから、2022年4月19日、同監査法人は、当社の監査役会宛に会計監査人の辞任の申
入れを行うまでの当該資金運用に関する監査の経緯及び情報提供の内容について通知がなされま
した。この通知では同監査法人がRaging Bull 合同会社による一連の資金運用に係る当社の与信
管理体制の整備・強化等につき「再三にわたり、書面又は口頭による問題点の指摘ないし是正の

提案を行って参りました。しかし、貴社は、本日現在に至るまで与信管理体制の整備・強化等に向けた具体的施策を実施せず、結果として、当法人による監査の遂行及び監査意見の表明が著しく困難な状況に陥ったことから、当法人としては、誠に遺憾ながら、貴社の会計監査人を辞任せざるを得ないとの判断に至り」と記載されていましたが、当社としては当該取引先に対して、当該取引先が実際に IPO 株式の相対取引を行っている証券会社との契約書や取引履歴等を要請しております。また当社監査役は当該通知を受け取りましたが、取締役の関与の懸念があるとの記載から、この通知について情報取扱責任者である当社の取締役との情報共有はなされませんでした。その後、2022 年 4 月 28 日付で、南青山監査法人との監査及び四半期レビュー契約を合意解約することとなりました。

以 上